

豊平地区 学校配置検討委員会ニュース

発行
2023年7月24日

豊平地区では、旭小学校の小規模化による課題の解決等のため、令和5年2月より「学校配置検討委員会」（以下、「検討委員会」といいます。）を設置し、検討を進めております。

この度、令和5年6月8日に第2回学校配置検討委員会を開催いたしました。協議内容につきまして、地域の皆様へお知らせしますので、是非とも多くのご意見をお寄せください。

検討委員会の配布資料等については札幌市教育委員会のホームページに掲載しています。



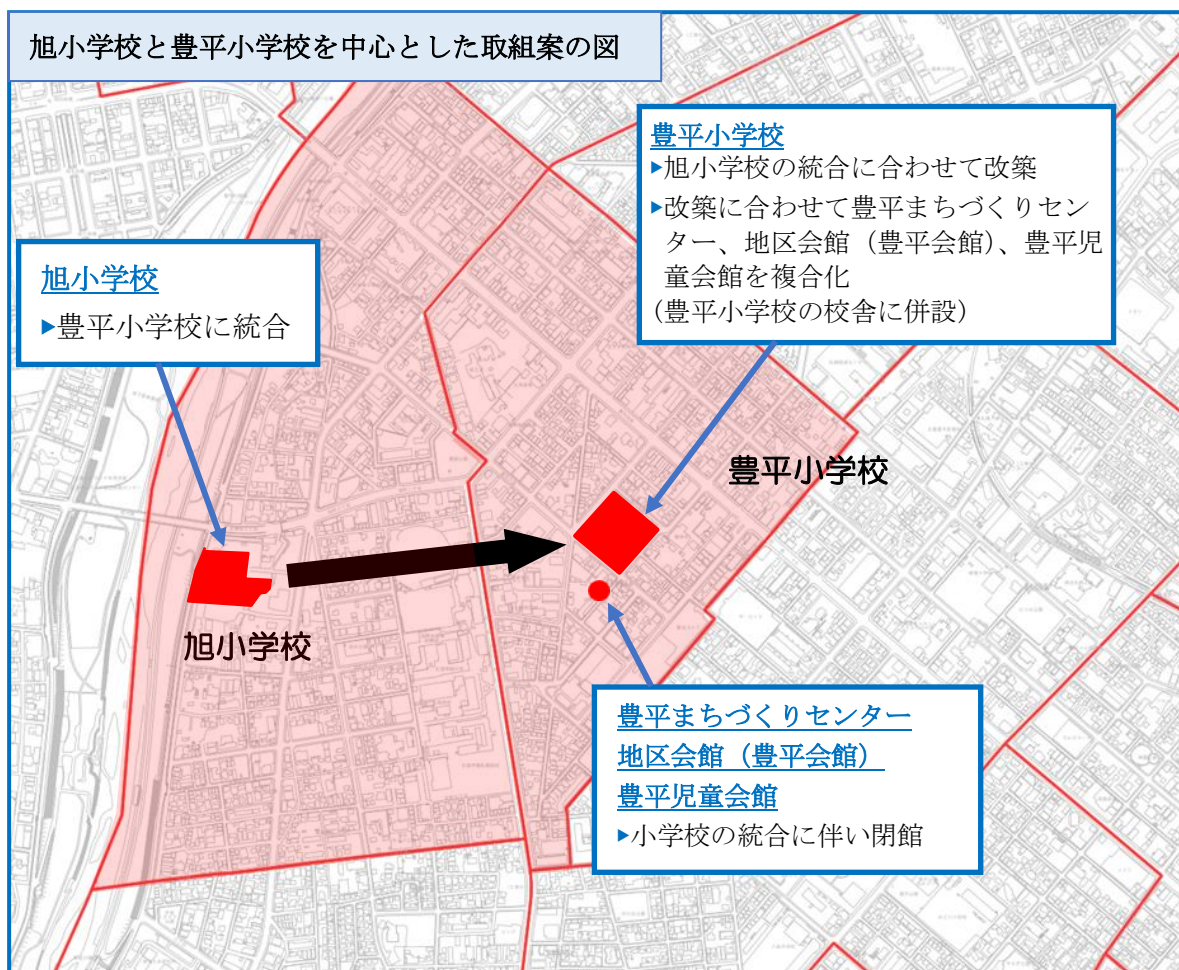
<https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/toyohira.html>

※第1回検討委員会の後、計4件のご意見等が寄せられました。第2回検討委員会の資料として検討委員会内で共有しております（上記HPで公開）。内容に応じた協議の中で適宜参考とさせていただきます。

札幌市と教育委員会は、検討委員会で協議を進めるためのたたき台となる「取組案」を作成し、第1回検討委員会（令和5年2月9日開催）において提示しました。

検討委員会では、引き続き、この「取組案」をたたき台として、学校規模の適正化を図る場合に考えられる課題と解決策などについて、協議、検討していくこととしています。

「取組案」は1つの案であり決定事項ではありません



1 取組案の位置づけと検討委員会の運営方法について

意見・質疑応答の概要

※類似の発言内容をまとめるなど文言を整理して掲載しています。

※「●」・・・委員からの意見、質問等

※「⇒」・・・委員、札幌市・教育委員会職員からの説明、回答

取組案の位置づけについて

- 児童や保護者の間で旭小がなくなることが決まったかのような噂が広まっており、いじめにつながりかねないような悪影響を及ぼしているので、決定事項ではないと表明してほしい。
- 統合が決定事項かどうかははっきりしてもらえないと、検討委員会の中でどう発言したらいいのかわからないので、明確にしてもらいたい。
- PTA や地域がきちんと統合について納得した上で話し合いを進めた方がよい。

その他検討委員会の在り方について

- 機械的に統合を進めようとするのではなく、地域住民の十分な理解と協力が得られるよう、住民の意向を尊重して進めるという観点で検討委員会を運営してほしい。
- PTA にアンケートを取るなどして真剣に議論をしてもらいたい。
- この検討委員会は、10年後20年後の子どもたちが喜んで学校に行けるようにするための話し合いの場だと思っている。
- 学校が無くなるというのは大きなこと。旭小を大切に思っている方々の気持ちも考えて時間をかけてやるのが大事だと思う。
- 子どもたちのよりよい環境を考えるための会が子どもたちに悪影響を与えてしまったことを残念に思う。大人として子どもたちに正しいことを伝えていかなければならない。

⇒【教育委員会】

- ・検討委員会の設置については事前の意見交換を通じて合意を頂いておりますが、具体的な規模適正化の取組内容については決定事項ではありません。引き続き正確な情報が伝わるよう努めます。また、検討委員会の役割と、検討するべき内容については改めて整理の上で、ご説明させていただきたいと思っております。

【まとめ】

- 本件については、必要に応じて個別に学校やPTA、地域の方々とも話し合いを行いながら、丁寧に進めていく。

2 小規模化する小学校で生じる課題の整理について

意見・質疑応答の概要

- 旭小は小規模で困っている訳ではない。大規模な学校こそ再編が必要なのではないかと。

- 小規模校のデメリットはメリットである。世界の流れは小規模校であり、小規模校については大賛成だ。
- 今も小規模校のままでいる学校はないのか。小規模校になった学校は例外なく統合しているのか。
- そもそもクラス替えは必要なのか。クラス替えといじめは関係がないのではないか。
- 6年間ずっとクラスが変わらなくて途中でいじめにあってしまい、転校しなければならなくなったという話を聞いたことがある。小規模校のメリットはたくさんあると思うが、トラブルになってしまった場合、クラス替えができない状況は辛いのでは。
- クラス替えができない状況でトラブルがあり、転校しなければならないと悩んだ時期があった。クラス替えができた方がいいと思っている子どもがいるかもしれない。
- 小学校の時は1学級少人数だったが、中学校にあがったら大人数になり、初めて普通のバレーボールが出来たと喜んでた。
- 複数学級の方がいいという考え方は決して間違いではないと思う。
- 今後豊平小も小規模になっていって、旭小の状況に近づいたときにこのままではよくないと思うことがあるかもしれない。

⇒【教育委員会】

- ・小規模校の環境しか知らない状況で高校や一般社会に出て大きな団体に入ることになった場合に戸惑ってしまうことが懸念されるほか、何か問題が起きた時にクラス替えをすることで、距離を取って関係をリセットできるという選択肢があった方がよいと考えております。
- ・小規模校の中には小規模特認校として制度化されている学校がありますが、その他の学校については原則として規模適正化の取組の対象としております。
- ・統合することで別の問題が発生することが見込まれるようであれば、解決できるまでは様子を見ることにはなりますが、教育委員会としては継続して関わっていきたいと考えております。

3 通学時の交通安全等について

意見・質疑応答の概要

北海学園敷地内を通過する通学について

- 北海学園敷地は現時点で通ってもいいと言われているので、子どもたちの通学時間を短くするために敷地内の通行を前向きに検討してもらいたい。
- 通常の道路での交通事故では事故を起こした人が責任を取っている。なので、北海学園敷地を通過して通学するにあたり、北海学園の敷地内で事故が起こった場合の責任の所在については教育委員会が気にするのは違うのではないか。
- 北海学園の部活動で大学生が学校の周りを走っていたが、危険だということで学校に苦情が入ったため、それ以降、北海学園の敷地内を走るようになったという経緯がある。北海学園の敷地内を多くの小学生が通ることになった場合、敷地内の通学の安全をどう確保するのが課題となる。

- 北海学園内を通学するかどうかについて、教育委員会や学校、地域とで実地点検をして決めたらどうか。

その他

- 水車町2丁目付近は事故が多く危ない。
- 今豊平小に通っているが、別の校区に住んでいる。遠いし大変だけれども、子どもはなんとか通えている。

【まとめ】

○通学安全の具体的な課題と対応策について引き続き議論を深めていく必要がある。

次回の検討委員会について

- ▶会議名 第3回 豊平地区 学校配置検討委員会
- ▶開催日時 2023年(令和5年)9月7日木曜日 16時00分～17時30分
- ▶開催場所 豊平会館(豊平区豊平6条7丁目1-12)

※検討委員のみが参加する会議のため、一般の方は入場できません。内容は後日ニュースレターやホームページでお知らせします。
また、日程は都合により変更となる場合があります。

次回(第3回)検討委員会の議題(予定)

- ▶第2回検討委員会の振り返り
- ▶地域や保護者の皆様から寄せられた声の紹介
- ▶通学方法や通学安全など、取組案の課題整理と解決の方法
- ▶その他、当日協議を行う必要があるもの

ご意見、ご質問は、下記事務局までお寄せください。

豊平地区 学校配置検討委員会事務局

- ▶札幌市教育委員会生涯学習部学校施設課(学校配置マネジメント担当)
- ▶電話:011-211-3836 FAX:011-211-3837
- ▶e-mail: gakkokibo@city.sapporo.jp

検討委員会の開催概要は札幌市教育委員会のウェブページにも掲載しています。

<https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/toyohira.html>

学校規模適正化 豊平

検索



さっぽろ市
02-S01-23-1354
R5-2-933

SAPPORO